

## 令和7年度 第2回大町市保育所等のあり方検討委員会 会議録

○開催日時 令和7年9月30日（火）午後2時から

○開催場所 大町市役所 東中会議室

出席委員 降旗 良典（大町市民生児童委員協議会）、諏訪 光昭（大町市社会福祉協議会）  
鈴木 康貴（大町市校長会）、西沢 弥恵子（大町市私立幼稚園連盟）、  
松原 克彦（大町保健福祉事務所）、會田 義昭（松本保健福祉事務所）、  
太谷 裕彦（大町市連合自治会）、傳刀 菜穂（大町市幼稚園父母の会）、  
溝口 あかね（大町市保育園保護者会連合会）

事務局 民生部長：久保田肇、子育て支援課長：高橋正彦  
児童係長：降旗広美、児童係：高橋勇太、新井貫太、中條きよみ  
くるみ保育園園長：松井弥生

---

### 1 開会

### 2 あいさつ

#### 【降旗会長】

大町市保育所等のあり方検討委員会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

昨年来より、検討委員会を重ねてきているわけですが、児童数の減少で保育所等のあり方を考えざるを得ない状況になってきており、皆様から数回にわたり、いろいろな立場から検討していただいております。また、統廃合に向けていろいろな資料をお示しいただき、保育士等の人材確保という立場でも非常に難しいという状況も踏まえて今後検討していかなければいけないと思いますが、併せて保護者の立場や子どもを預かる立場としても、しっかり検討していかなければならないと思いますので、皆さんの活発な討議をよろしくお願いいたします。

#### 【久保田民生部長】

本日は大変お忙しい中、会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

7月開催の第1回の検討会では、当市の置かれている現状として、保育施設の児童数、保育士の状況等に加えて、課題の解決のための取り組みとして、入園児の利用調整、保育所の再編といった今後の検討を深めていただく入口としての説明が中心でありました。そしてそれに対しまして、委員の皆様から貴重なご意見を頂戴した次第です。本日は、さらに具体的に検討に入ってください会議になります。

皆様の忌憚のないご意見をいただけますようお願い申し上げます、簡単ですがご挨拶とさせていただきます。

### 3 会議事項

#### (1) 公立保育所のあるべき姿

【降旗会長】事務局より説明をお願いします。

【事務局】（資料1に基づき説明）

【降旗会長】説明が終わりました。ご意見・質問等がありましたらお願いしたいと思います。（意見なし）

## （2）公立保育所の再編に向けた現状と課題の整理

【降旗会長】事務局より説明をお願いします。

【事務局】（資料2に基づき説明）

【降旗会長】説明が終わりました。ご意見・質問等がありましたらお願いしたいと思います。

【A委員】

出生者数をある程度参考として資料に掲載しておいた方が良いのかなと思います。転入転出等がありますが、将来的な推移がわかるし、3歳未満児の需要が特に高まるというのもそれぞれの家庭環境に生じて出てくると思うので、数字を把握しておいた方が良いかと思います。

【事務局】

出生者数については、第1回資料に記載があります。

【B委員】

地理的なことで仕方ない部分もあると思いますけど、八坂地区の課題の中で、現状でも八坂地区の遠い場所から自家用車での送迎ではなく地域の振興バスで通園している園児がいるということで、たけのこ保育園が再編の対象となった場合、市内の一番近い大町幼稚園でも34分、はなのき保育園で36分かかるということで、現在の21分より長く通園にかかるということ。子どもだけで、バスに乗って30分を超える時間を移動する、帰りは保護者が迎えに来るのかもしれないけれども、それはいかがなものかなということだと思います。

現在木曾とか、園の統合によって一部送迎バスを利用している園もありますが、その際には保育士がバスに乗って一緒に移動するというような安全面を考えると、そういう負担が当然生じてくるわけで、安全面を考えるとそういう措置も考えないといけないのかなと思います。それと、園の立場からすると、できれば毎日保護者の方から預かるときに子どものお家での様子を聞いて、迎えに来たときに今日園ではこんな様子でしたよってという保護者との対話はすごく大事な要素だと思うんだけど、今八坂地区はそれができてない子どももいるということで、できれば原則送迎でお願いするというようなことを考えたほうがいいのか。その30分以上を子どもだけではなくて、保育士も一緒に乗って移動するというのは保育士の負担とかを考えると、もしたけのこ保育園が再編の対象となったときには、その地区の子どもをどう受け入れるかということを見ると、大きな課題の一つかなと思います。

【事務局】

地域振興バスですが、現状として添乗して下さっている地域の方がいます。保育士ではなく、地域の住民の方が添乗をしていただいているという現状になっております。距離の問題と送迎の問題は大きな課題であると市の方でも感じておりますので、検討が必要だと思っております。

## （3）公立保育所の再編

【降旗会長】事務局より説明をお願いします。

【事務局】（資料3に基づき説明）

【降旗会長】説明が終わりました。ご意見・質問等がありましたらお願いしたいと思います。

【B委員】

数字の面からみると、3園にすることは仕方ないことかなと思います。現在の保育士数で見ると、当然、歳を重ねて辞めていかれる人もいるでしょうし、その一方で新しく入ってくる保育士がどれくらいいるのかなというのは未知数だと思いますが、全国的な傾向を考えると、辞めていく人がいる一方で新しい保育士を確保することはかなり大変なことだと思うので、この82人が、今後増えていくということはあまり考えられないので、この数字をもとに考えると3園というのは仕方ないことかなということも思います。

その一方で、やはり少しでも保育士の働き方改革を図って、子どもたちに余裕を持って関わってもらうためには、新しい保育士の確保に努める方策を考えていく必要があるのかと思います。再編と併せて検討していく必要があるかと思います。

【事務局】

毎年、採用試験の度に保育士が何人受験しているか確認し、お辞めになる方を一生懸命引き止めて、何とか運営している状況なので、確保策についても検討委員会の報告書等の資料に入れていくような形で考えたいと思います。

【C委員】

再編により3園になった場合、送り迎えの時間帯は駐車場が混みあうこともあるかと思いますが、仮にくるみ保育園を残すとなった場合、周りが住宅地のようなので、駐車場の拡張や建物の増築などは可能なのでしょうか。

また、たけのこ保育園は自家用車で送り迎えをした方がいいのではというのがありましたが、メリット・デメリットを考えたら、たけのこ保育園は再編の対象にして、バス通園にしたらいいのではないかと思います。

【事務局】

くるみ保育園は北側に、市の土地がありますので、今後再編する園に関して、皆様のご意見をいただきながら決めていく中で、くるみ保育園を残すとなった場合、例えば駐車場の整備であるとか、園庭を広げたいとか、なにか必要になるようであれば、市の土地を活用することはできると思います。

たけのこ保育園もそうですが、メリット・デメリットのところは今後皆様のご意見をいただきながら整理して、この後住民に説明をしていくことになるかと思いますので、そこら辺を整理してまたお示ししたいと思っております。

【D委員】

再編による必要な保育室数という部分で、3園にした場合、幼児室は足りているかと思いますが、未満児室が足りなくなるので増設するということでしょうか。

【事務局】

幼児室が多いので転換できるのか、また子育て支援室も利用状況に応じて転換できるか考える必要があります。それでも足りない場合は増設も検討する必要があるかと思いますが、どの園を再編するかによって変わってくるので、再編の園が決まったところでシミュレーションし、皆さんにお示しできればと思っております。

**【D委員】**

基本的には応用すれば対応できるということでしょうか。

**【事務局】**

再編する園が、はなのき保育園・あすなろ保育園・くるみ保育園であれば足りるという感じですが、それ以外の園になると少し増設ということになるので、どの園を再編するかによって大分変わってくるかと思います。

**【E委員】**

人口が減ってくる中で、人材不足で飲食業などではロボットを活用したりしているが、保育園でもそのような取り組みを検討していくことはできないでしょうか。

**【事務局】**

子供と関わる場所を、そういう形にすることは難しいとは思いますが、保育士が行っている事務的な部分についてはできるだけコンピューターを使ったICT化を進めるということをしていかないといけない時代で、大町市も少し取り入れているところです。

全国的にやはり保育士が不足していることは事実ですので、国の肩でも働き方を改善するとか、保育に関わる時間を増やすという方向性で、コンピューターであるとかAIであるとか、そのあたりを的確に見極めながら、できるだけ人材を有効に活用できるように考えていきたいと思っています。

**【B委員】**

これからの話になっていくところだと思いますけど、先ほどのお部屋の数の問題で、今ある保育施設を利用することになると、未満児の部屋が足りないから幼児の部屋を使用していくという考え方は大事だとは思いますが、実際の現場の保育士たちの考え方を聞くことはすごく大事で、やっぱりトイレの問題だったり、子どもの動線の問題だったり、多くの園は、未満児の棟と幼児の棟が大体分かれていますので、その中で幼児のところを未満児用にするには、かなり改修というか、トイレの問題とかそういうものを含めて考えていかないといけないことかなと思うので、部屋の数が足りているからとそのまますぐ応用できるかという問題ではないので、そこはやはり現場の保育士たちの動きやすさであったり、そういうものを考えて、ある程度改修の検討もする必要あるのかなと思います。

**【事務局】**

トイレのことや床暖房のこととか、やはり保育士にお聞きすると、改修が必要なところは十分ありそうな気はしておりますので、再編に含めて、きちんと現場の意見を聞いてやっていきたいと考えております。

**【A委員】**

前回も少しお話したと思うんですけど、再編等については避けて通れない課題だということで、いち早く再編に向けて動き出していただいて、前回の資料から今回はかなり具体的に進めて、数字をしっかりと把握した中での将来の見込みも立てながら、わかりやすい資料で示していただきました。おそらく次回にはその辺のタイムスケジュールをお示しいただけるとは思いますが、決まればもちろん市民なり、保護者の声を聞くは重要ですので、それらも含めるとまだある程度一定の時間が必要ですが、スピーディーな取り組みを今後もっとスピードアップを図るのではなくて、着実に進めていただいて、先ほど降籬会長がおっしゃったように、大町市の子育てのためのよりよい環境づくりをぜひ取り組んでいただければというのが、今日の感想で

ございますし、できるだけスムーズな移行ができるように、ぜひご努力をお願いしたいです。

#### (4) 意見交換

##### 【D委員】

資料で数字的に見させていただいたんですが、くるみ保育園、はなのき保育園、あすなろ保育園の3園が妥当ではないかなという考え方を持っております。

しらかば保育園に関しましては、くるみ保育園とか民間のりんどう幼稚園がありますので、そちらの方でカバーしていただければいいのかなと思います。また、どんぐり保育園につきましても、はなのき保育園もしくはあすなろ保育園の方へ移動ということで、距離的にも時間的にも示されたような感じでいいとは思いますが。ただ、八坂のたけのこ保育園につきましても、地域性ということで、B委員からも意見をいただきましたが、遠いほうから通うのは大変です。もし廃止となれば、バス通園の手配をしていただければと思います。付き添いという形であれば地域ボランティアが運転士の他に乘っていただいて、乗降の確認などが必要になってくると思いますので、そういう立場のことも考えて進めていただければと思います。

##### 【F委員】

資料3の公立保育所再編っていうところに、令和10年度以降も、3歳児以上は各年齢50人程度で推移するというふうに書かれております。様々なシミュレーションされていて、3園にしていくということで考えられているんだろうなというふうに思うんですけども、

まず、前提として、本当にこれが正しいのかなあと考えたときに、保育所を減らしていくことは、立地的に幼稚園の方が近いという保護者も出てきますので、そうすると認定こども園の方に通わせるというお家も増えてくるのかなと。そうなったときに、保育園の利用者数が本当に50人程度で推移するのかなってというのが1つ。それから先ほどからも出てきているんですけども、保育園の先生方の働き方改革も含めてなんですけども、やっぱり保育園自体が早朝から開いてくれて子どもたちを預かってくれる、夜遅くまで働くことができるっていうこの保育園のあり方っていうことも大事だと思っていて、これをやってもらうためには、保育園の先生方にも、給与面でもしっかりと出してあげて働きやすいっていうこととあわせて、保育園の先生方もやっぱり家庭があって子育てがあって介護があつてっていう中で働いているのでうまくシフトが回れるようにっていうことの配慮も必要になってくるかなと。保育園の先生方が働きやすいっていうことが、子供たちを安心して預かれるそういう状況をつくれると思うので、そこがあると幼稚園よりも保育園に預けようかなっていうそんな気持ちにもなるのかなっていうふうに思いますので、数字の方でしっかりと考えられていると思うんですけども、今後、保育園の先生方のことも考えていただきながら進めていただければよいかなと思います。

##### 【G委員】

大町市の私立の認定子ども園は3園ともそれぞれ特徴のある幼児教育を行っております。なので、公立保育園とはちょっと違う部分もありますが、やはり認定こども園の方でも保育士が不足していたり、本当にそれぞれ幼稚園は苦勞しておりますので、公立保育園を再編するという事は私もいいとは思いますが、どこの園にというのはちょっと私の中でもわかりませんけれども、そうした場合は、認定こども園がどうなっていくのかなってというのは、ちょっと心配になってくるところで、認定子ども園にもそれぞれ定員数っていうのがありますのでその点がどうかなっていくかがちょっと将来に心配になってくる1点ではあるんですけども。

また地域となると、大町幼稚園は東側、それからこまくさ幼稚園は市内、そしてりんどう幼稚園は平という、そんな位置にありまして、そういう点でも保育園が再編になった場合どうゆう風になるのかなという点でちょっと心配はあります。

大町市のことを考えていくとやはり認定子ども園3園も本当に大町のためにいろいろ幼児教育をしっかりとやっていかななくてはということ、それぞれの園で持っておりますので、本当に認定子ども園も真剣にこれから考えていかなきゃいけないなという感想を持ちました。

#### 【H委員】

再編のお話の中で、休園のところ除いて6園が3園と半分にというお話でございますので、それによりまして環境が変わるご家庭も当然多数出てくるというのもございますので、保護者の方もそうですし、関係する方につきましても、ぜひまた丁寧なご説明とか、それぞれいろいろなご事情であったりご意見あるかと思っておりますので、丁寧にそういったご意見を聞いていただければというふうに思います。それから先ほどB委員からもお話あったんですけども、現場の保育士の皆様につきましても、勤務環境の変化が生じてきたりしますので、ぜひ、保育を担っておられる保育士からも、よく意見ですとか要望とかを聞いていかれるのがよろしいかなというふうに思ったところであります。

【B委員】3園をどこにするかっていうことは、いろいろやっぱり視点があると思うので、いくつかの視点から洗い出して、この3園が望ましいっていう結論を出していったほうがいいなと思うんですけどね。視点っていうのは、1つは地理的な視点がありますよね。

私も認定子ども園がどこにあるかどうかよくわからないので、地図を見て初めてわかったんですけど、例えば、くるみ保育園とはななき保育園とあすなろ保育園を残したときには、大町の地理的な面から北部、中部、南部にある程度分散できるとか。それから、実際の園舎の部屋数から改修の費用の面からを考えるとあまり改修の予算的にはもちろん、動線の問題とかトイレの問題で改修は必要なんだけど、できるだけ低予算で抑えることを考えると、今お部屋のあつ園の方がいいという物理的な問題。あとは、保護者の方の預けやすさとか、先ほど駐車場の話も出てきましたが、実際に広げるってなったときに、当然今お部屋が足りていても1つか2つは増やす可能性は当然あるわけで、そういうことが可能な園はどこかということ。だから、今お話したように、地理的な面、それから物理的な面、保護者の預けやすさ、もうそれだけ3つありますが、どんな洗い出しの視点があるかっていうことをある程度明確にして、マトリックスのようにして、そういう点からもこの3園っていうふうに決めなければと思います。

それと同時にたけのこ保育園とみあさ保育園は、そこに通ってる子どもの送迎の問題。そういうことはやっぱり、取り崩さないっていうことと、あとはたけのこ保育園に関して言えば、地域の人の思いがすごく強い園だったなっていうことは訪問するたびに思うんですけどね。年間のうちの3分の1くらいは地域行事で埋まっている。だから、地域密着型の園なのでそれをなくすっていうことは、相当地域の方の理解を得ないと難しい部分、だからハードルが一番高いのかなって思うので、そこをどう崩していくというか、無くす代わりにこういうことを考えていますっていう地域への貢献策みたいなものを考えないと、たけのこ保育園はなかなか地域の方々も納得いただけないかなって思うことは思います。

#### 【I委員】

正直保育園のことはあまりわからなくて、昔は働いている人は保育園、ちょっと学習させた人は幼稚園みたいなイメージで入れていたような気がするんですけど。今りんどう幼稚園に

通わせてるんですけど、私も支障なく働くことができています。保育園が減って、きっと幼稚園っていう方も増えてくると思うんですけど、そういった働いている人でも幼稚園使いやすいよっていうのを、選ぶときに保護者に説明していただいて、いい面と悪い面を伝えていただいて、選んでもらうのが一番いいのかなって思います。

#### 【C委員】

3園にするとなったら、くるみ保育園、はなのき保育園、あすなろ保育園でよいと思います。

たけのこ保育園に関しては、今の保護者会長とお話する機会があるんですけど、園行事が全部地域の人と一緒に全部行事をするって言ってたので、確かにさっき會田先生がおっしゃってみたいに、理解を得るのは多分相当大変なんじゃないかなと思うんですけど。もしたけのこ保育園がなくなったとしたら、バスを出してもらって、1ヶ所の保育園とか幼稚園にまとめるのではなくて、2ヶ所とかそこら辺に分散させてバスを利用できるようにして、自家用車で送迎するおうちに関しては、通園費を支給するのはどうかなと思いました。以前小谷村に住んでいて、子供たちも途中まで小谷保育園に通っていたんですけど、自家用車の人は年度末に必ず通園費というのが支給されていて、そういうのがあるとまだいいんじゃないかなと思いました。

#### 【E委員】

今通っている方と、さっき継続で90人ぐらい生まれてくるっていう予測のもとで、人口比率でどこらが、今後子供たちが増えるかっていうのも加味しながら、3つの保育園を決めてもらえばいいんじゃないかと思います。

ただ、場所的に言うと、さっきから話に出ている3つにならざるをえないんだろうけど、やっぱりいろんな保護者とか、いろいろなもの人に話を聞いて、遠くてもそっちに行きたい人もいるだろうし、さっき言われたように、幼稚園に行くっていう人もいるだろうし、鈴木先生が言われておる50人がすべてバラバラになるっていうこともあると思うんで、今通ってる所と検討しながら、3つを決めてもらえばいいんじゃないかな。

#### 【A委員】

いろんな場面で議論を重ねてもらうことが大事ですね。

#### 【F委員】

現状の美麻のことをお話しさせていただいたほうがいいかなと思って発言させていただきます。みあさ保育園が休園になって、どんな弊害があったか、1点だけ。

私以前美麻にいたんですけども、その時は保育園の子どもたちが学校の運動会とかに来たり、平日も遊びに来たりしながら交流を通して、みあさ保育園の方から美麻小中学校に上がってきました。休園になって、大町市内の保育園や幼稚園に通い、そこのお友達と一緒に学校に行きたいということで、区域外通学を申し込んで美麻小中学校に来ないお子さんもいるっていうことが起きています。なのでたけのこ保育園がそういう状況になったときに八坂小中学校に上がらずにっていうこともあるんだよっていうことを、ちょっと頭の片隅に置いておいていただければいいかなというふうに思います。

それでも、現状から見るとやっぱり保育園を再編しなくちゃいけないっていうのはわかりますし、学校も中学もそうですし、今、小学校が4校から2校に再編するというので、子供たちが減少する中ではそうせざるをえないんだろうけれども、今、みあさ保育園が休園になっているっていう現状でこういうことがありますということをお伝えしておきます。

(5) その他

【降旗会長】 その他意見等はございますか。

(意見なし)

4 その他

【事務局】

今後のタイムスケジュールについてご意見がありましたので、事務局にて考えているスケジュール感をお伝えします。

第3回の保育所等のあり方検討委員会の日程について、11月上旬～中旬に開催させていただきたいと思います。その際には本日のご意見をもとに再編する園の候補をお示しできればと思います。そして12月の市議会にて内容を説明させていただき、その後、保護者説明会や市民への説明を行っていきたいと考えています。おおよそ3ヵ月くらいを見込んでおります。保護者説明会や市民の方から出てきた課題等を踏まえて、その対策も検討したなかで、第4回の保育所等のあり方検討委員会を来年度4月下旬から5月頃予定しています。

※第3回検討委員会は、11月6日(木)午後2時～ 東中会議室

5 閉会